

ちば中学生県議会の今後のあり方検討 ワーキンググループ（第6回） 次第

日時：令和7年2月14日（金）

15：00～

場所：議会運営委員会室

1 開 会

2 開催要領案について

3 今後の検討項目の整理について

4 そ の 他

5 閉 会

ちば高校生県議会検討ワーキンググループ開催要領（案）

1 目 的

本ワーキンググループ（以下、「WG」という。）は選挙権年齢が18歳以上に引き下げられたことを受け、次代を担う若者が議員との直接の対話を通し、県議会や議員の仕事に対する関心を高め、主権者としての政治参加意識の醸成を図るとともに、議員のなり手不足解消に寄与するために実施するちば高校生県議会の検討を行う。

2 検討事項

令和7年度実施に向けた具体的な検討を行う。

3 参加者

（1）構成員（代表者会議の各会派代表からの推薦議員）

自民党 4名、立憲民 2名、公明党 1名、千政団 1名、共産党 1名

（2）関係課

議会事務局政務調査課、教育庁教育振興部学習指導課、総務部学事課

（3）事務局

議会事務局議事課

4 運営

（1）WGには座長を置く。

（2）座長はWGを招集し、議事を進行、整理する。

（3）座長が必要と認めるときは、WG以外の関係者の出席を求め、意見を聴くことができる。

（4）議事要旨等は構成員の了承を得た上で公開とする。

5 開催時期

WGは座長が必要と認めたときに随時開催する。

6 費用弁償

議員及び必要に応じて出席した者がWGに出席するため旅行したときは、その費用を弁償する。

7 その他

（1）本ワーキンググループの庶務は、議会事務局議事課において行う。

（2）この要領に定めるもののほか、WGの運営に関し必要な事項は、協議の上、WGに諮って座長が定める。

附則

1 この要領は、令和7年 月 日から施行する。

2 この要領の施行に伴い、ちば中学生県議会の今後のあり方検討ワーキンググループ開催要領は廃止する。

		学 習 指 導 課	学 事 課
開催時期	7～8月のいつ頃がよいか	・<u>夏季休業日は7月21日から8月31日まで</u> （2学期制の場合は8月28日まで） ・各種大会は、夏休み期間中絶えず開催される	<u>7～8月のいつでも良い</u>
	公募はいつから行えばよいか	① 5月上旬 学校宛て依頼文書 （案内文書）の発出 ②～6月上旬 エントリー期間 ③～6月末 （必要な場合、）追加依頼・エントリー ④ 7月初め エントリー結果確定・周知	新学期が始まる4月以降で、参加校などの調整や場合によっては参加校の事前の打ち合わせも含め、 <u>5月中に公募をする必要</u> がある
	開催時間の希望はあるか	特になし	特になし
対象	全学年対象でよいか	<u>よい</u>	<u>よい</u>
テーマ	テーマ選定において考慮すべき点はあるか	テーマよりも <u>政治的中立性の確保に留意いただきたい</u>	特になし
学校への周知	周知方法はどうするか	<u>申込先のリンクや二次元コードの付いた生徒宛てリーフレット</u> を作成するのがよいのではないかと。学校によって周知方法は様々であるため、教室掲示による周知と電子データによる周知の両方がとれる形式がよい	県HPだけでは認識できない生徒も多いため、ポスターやリーフレット等、 <u>生徒個人に渡すものがあればよい</u>
その他	今年度中に決めるべき事項はあるか	特になし	特になし

他都道府県のテーマ

- ・若者の回帰・定着について
- ・若者の流出について
- ・若者の定着について
- ・少子高齢化について
- ・子育て政策について
- ・学校の校則について
- ・スマホによる学力低下・学校でのジェンダー平等
- ・L G B T Qについて
- ・地域に対して高校生がしたいこと
- ・県議会議員の仕事について
- ・若者の政治参加について
- ・議会や政治への関心を高めるためには
- ・若者有権者の政治的関心を高めるための方策
- ・投票率を向上させるための課題と解決策
- ・若者が政治に興味を持つための取組について

質 問

- ・議員になろうと思った時期やきっかけはなにか
- ・どんなところに議員のやりがいを感じているか
- ・議員として積極的に行動していることはなにか
- ・議員生活で一番大切にしていることはなにか
- ・議員が一般市民の必要としていることを聞くためにやっていることはなにか
- ・県民の声をどこで拾っているのか
- ・特に若者の民意を聞くのに適切な場所はどこだと思うか
- ・日常で議員活動はなにをしているのか
- ・本会議の時以外はどんな仕事をしているのか
- ・議員になるメリットはなにか
- ・今後政治参加をするに当たって学んでおいた方がよいことはなにか
- ・若者の投票率を上げるために、県はどのような取組をしているのか
- ・女性議員が少なく、女性の地位や意見が反映されることが少ないと感じるが、どう思うか
- ・議員の給料は高いが、減らせば税金が減るのではないか
- ・政務活動費とはなにか
- ・少子化対策について、県議の考えを聞かせてほしい
- ・増税と少子高齢化対策は矛盾していると思うが、どうか
- ・外国人が働きやすい仕組みが必要だと思うがどうか
- ・社会の常識、ルールを守れない人が大勢いて、政治等に対し文句は言う、不満の責任を議員になすりつける人がいると思うが、そういう人たちについて議員はどう感じているのか
- ・多様性という言葉をよく聞くがなにを尊重すればよいのか、議員の考えを聞かせてほしい